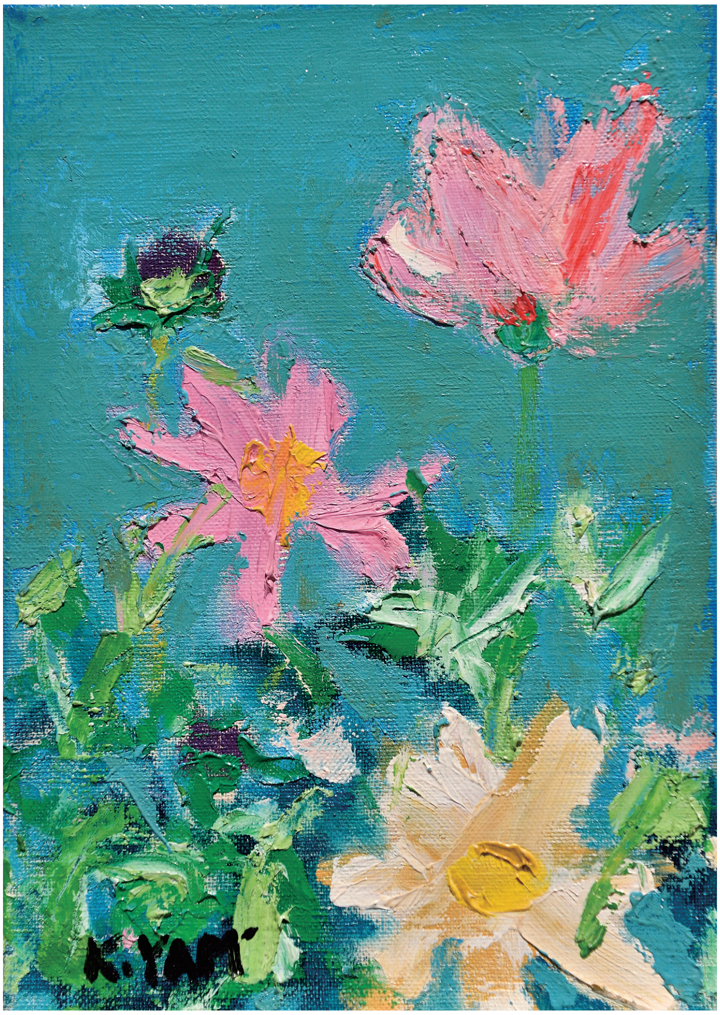
厳　橿

第　81　号



奈良県立医科大学医学部医学科同窓会

目　次

巻頭のご挨拶　同窓会副会長（昭和44年卒）寺田　秀興　3

第14回　厳橿対談

　医学科長　伊藤利洋（平成11年卒）×同窓会会長　高橋優三（昭和49年卒）　4

令和６年奈良県立医科大学医学部医学科同窓会代議員会・総会

　総会　学長挨拶　（昭和50年卒）細井　裕司　7

　総会記念講演　医療DXの現状と未来

　京都大学医学部附属病院　医療情報企画部　教授　黒田　知宏　10

令和６年　定例代議員会　14

令和６年　通常総会　20

令和５年度　収支決算書、財産目録、監査報告書　23

令和６年度　予算書　25

奈良医大発の人工赤血球製剤の医師主導治験が始まります　化学　教授　酒井　宏水

　血液内科学、輸血部　教授　松本　雅則

　臨床研究センター　教授　笠原　正登　27

理事に就任して　（平成22年卒）杉本澄美玲　30

教授就任のご挨拶　総合医療学講座　教授　吉本　清巳　31

教授就任のご挨拶　埼玉医科大学総合医療センター小児科　教授（平成８年卒）井上　信明　32

「阪奈会」保健医療懇談会を４月20日に開催した　（昭和47年卒）村田　省吾　33

「阪奈会」通常総会を開催　阪奈会　会長（昭和57年卒）澤田　秀智　34

90回阪奈会ゴルフコンペ　（昭和60年卒）妻谷　憲一　36

堺地区奈良医大同窓の会の報告　（昭和62年卒）石田佳代子　37

昭和56年卒業　五六会同窓会　（昭和56年卒）吉野　和男　38

奈良医大47年卒同窓会　（昭和47年卒）森藤　哲章　39

柔道部新入生歓迎会がにぎやかに行われました　（昭和40年卒）小味渕智雄　40

地区同窓会の現況と今後の活動方針　（昭和40年卒）小味渕智雄　41

高岡孝一先輩を偲んで　（昭和33年卒）梅垣　修三　46

高岡孝一先生を偲んで　（昭和42年卒）八木　正躬　47

教室紹介

　脳神経内科学講座　（平成７年卒）杉江　和馬　49

女性医師として母として駆け抜けた半世紀　（昭和47年卒）岡本　和美　53

先生のひと言が拓いた道　（昭和39年卒）山本　公弘　54

自著紹介「君はどんな看護師になるのだろう」　（昭和49年卒）高橋　優三　58

第76回西日本医学生大会を終えて　（医学科４年生）飯尾　郁夢　59

令和６年度白橿生祭のご報告　（医学科５年生）朝井　啓斗　61

同窓会費と寄附に関するお願い　63

令和７年　定例代議員会・通常総会のお知らせ・ホームカミングデイ　64

未来への飛躍基金だより　65

理事会報告　66

各学年別終身会費完納率　68

物故者・同窓会だより・会員のひろば　69

編集後記　70

広告　医学書院　71

広告　「未来への飛躍」基金　72

同総会報名「厳橿（いつかし）」の由来

厳橿とは、神聖な橿の木のことで、本学のある一帯は、古代に「厳橿がもと」と呼ばれていた。また、古代の人々は常緑で固い橿に託して「命の無事」を祈った。「厳橿がもと」にあり、「命の無事」に貢献する本学を表している。

同窓会 Web サイトへのリンク ➡

◆表紙説明

【油彩「コスモス」】　山　本　公　弘（昭和39年卒）

風が吹けばゆらゆらと揺れるコスモス。バラのように美を競うでなく、桜のように派手派手しくもなく静かに咲く姿が魅力です。幼子のようにかわいい花です。残念なのは描き手が未熟なこと。詳しくは「先生のひと言が拓いた道－美術部の思い出－」に記述しています。

巻頭のご挨拶

同窓会副会長　寺　田　秀　興
（昭和44年卒）

同窓会報「厳橿」では「同窓会報」の時代から長年に渡り巻頭での会長挨拶を掲載してきましたが、この度、高橋会長から副会長も挨拶文をとの方針が打ち出されましたので、トップバッターとして私が本号を担当することとなりました。庶務を担当しております所から、お伝えしたいことが多くあり、散逸な内容になるであろうことを、前もってお断り申し上げます。

まず、６月15日に開催しました定例代議員会、通常総会についての報告です。予定した諸事項は、出席いただいた代議員や役員の御協力と細井学長や記念講演にお招きした黒田知宏先生を始め、ホームカミング参加の皆様方、さらに学生さんの支援もあって、無事に遂行できました。特筆すべきこととしては、昨年就任されました山下知事が総会から懇親会の最後まで参加いただき、打ち解けた雰囲気で予定時間を延長しての大変な盛会になったことでした。

７月からは新年度となり、就任２年目を迎えた高橋会長は、かねてから同窓会として取り組む方針であった事々の実践を進めようとされています。その一つは、ホームページの改新です。長らく活用できておらず、同窓会活動の周知が年２回発行の「厳橿」のみであったのですが、これにホームページでの案内や報告で少しでもタイムリーな情報発信を目指すこととなります。会員の皆様方には、どうぞホームページを開く機会を増していただくようお願い申し上げます。次には、代議員活性化問題についてです。代議員の方々のアドレスを事務局にお知らせいただき、理事会での協議の内容や会長の意向を伝えることと、逆に代議員の方々から貴重な意見を発信していただき、理事会運営に生かせることを始めました。すでに４割以上の代議員からアドレスをいただいており、有効な意見交換が進められております。

次に、来年４月にオープンする新キャンパスに関連することの報告です。平成27年頃より、教育研究部門の移転整備問題が大学と県との間で盛んに協議され、その後、実行に向けた計画は用地の一部の買収が難航し遅延したことや、計画の部分変更が加えられて来ましたが、いよいよ完成間近となりました。詳細については大学からの学報や新キャンパスニュース等で伝えられる所ですが、同窓会としては、開学80周年の記念の年に、新キャンパス開設を迎えるということを開学以来の慶事と捉え、記念の品を大学に贈呈すべく協議を進めて来ましたが、５月には工事中の現場の視察も行った上で、大学の要望に沿って時計塔を寄贈することとなりました。これには同窓会の大学整備後援資金を充てることを代議員会や総会でも承認いただいている所です。さらにオープンした暁には、同窓会員の皆様方にも見学の機会を作るイベントの企画を考えております。現在のキャンパス共々で「医大を中心としたまちづくり」推進のための意見がいただけるきっかけになるのではと思っております。

最後になりますが、会員の親睦がメインテーマである同窓会ではありますが、大学のさらなる発展に向けた活動に対し、有力な支援も続けて行くために、皆様方の理解と絶大なる協力をお願い申し上げます。